

2025 探究活動始動

探究科学科の1年SS基幹探究、2年SS発展探究、普通科2年SS探究Ⅱのオリエンテーションが相次いで開催され、今年も探究活動がスタートしました。

2年探究科学科SS発展探究オリエンテーション

◇日時：4月11日（金）13：35～

◇参加者：2学年探究科学科生徒79名・授業担当の先生方

これから始まる2年SS発展探究についてのオリエンテーションでは、まず探究教育部長の土井先生から、「長篠の戦いで、本当に信長軍は鉄砲により優勢になったのか？」という疑問が投げかけられ、歴史的な疑問でも、多角的に、科学的視点から考えることでより正確に深く考察できることが述べられた。また、学年主任の菅田先生からは、現在放送されている朝ドラ「あんばん」で「舞台である高知県と富山県の方言が似ているのはなぜか？」という疑問が投げかけられ、生徒からは「都の京都からの距離が高知県と富山県とは大体同じだから」などの意見が出たが、これらのやり取りを通して、身近な疑問も探究のテーマになり得ることや、多元的な見方が大切であることが実感できた。1年間の探究活動の予定や探究活動の評価に関する説明、担当する先生の紹介を受けて、1年間の見通しを持つことができ、ますますこれからの探究活動が楽しみになった。



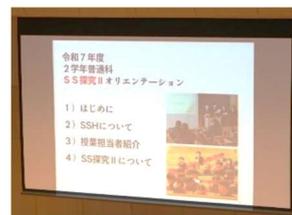
オリエンテーションの後には教科ごとに分かれ、それぞれでこれから行う探究活動のテーマについて話し合った。いざテーマを決めるとなると先行研究や実現可能性、意義なども考えなければならず難しいが、班の仲間と頑張っていきたい。

2年普通科SS探究Ⅱオリエンテーション

◇日時：4月16日（水）14：40～

◇参加者：2学年普通科生徒160名・授業担当の先生方

今回のオリエンテーションでは、まずSSH主務者の巖寺先生からSSH校としての役割の説明を受けた後、授業担当の先生方の紹介があり、藤井先生からSS探究Ⅱについて、一年次に行っていたSS探究Ⅰで学んだことを二年次ではどのように発展させて探究活動を行うのかを教えてくださいました。また、過去の先輩方の研究の成果や反省をもとに、自分たちの探究活動に取り入れるべきことも学びました。



今年の学年テーマは「ウェルビーイング」です。ウェルビーイングとは、富山県が成長戦略の中心としているものです。学校外に視野を広げ、自分たちが研究したいと思う社会課題的なテーマを見つけ、企業や官公庁などと外部連携をして探究活動を行えるのは貴重な機会だと思います。文系、理系の枠を超え、探究力（読み解く力、情報収集力・分析力、課題発見力、仮説設定力、計画・実証力、考察力、表現力）、STマインド（自主性、創造性、協働性）、データサイエンス活用能力（統計学の力、プログラミングの力、データを可視化する力）を身に着けるために、これから始まる探究活動の仮説づくり、計画などに向き合っていきたいと思います。



1 年探究科学科 S S 基幹探究オリエンテーション

◇日 時：4月17日(木) 14:40～

◇参加者：1 学年探究科学科生徒 81 名・授業担当の先生方

1 学年探究科学科でも探究活動のおもとして S S 基幹探究が始まります。探究科学科 1 年の全生徒が取り組む探究活動について説明を受けました。

まず探究教育部の先生方から S S H や基幹探究の授業のねらいについて話を聞きました。探究教育部の土井先生からは本校に集まった様々な個性をもつ生徒がそれぞれの長所を生かしあって探究活動に励んでほしいという激励の言葉を受けました。その後、数学、国



語、英語、地歴、理科の各授業担当の先生方から探究基礎 I の授業内容や準備物などについて話を聞きました。次に探究教育部の砂田先生から探究活動全体のルーブリックを用いた評価についての説明を受けました。最後には学年主任の阿部先生から激励の言葉を受けました。

オリエンテーションを受けた生徒からは「県内唯一の S S H 指定校である富山中部高校でしか味わえない探究活動が楽しみだ」という声が上がりました。このように生徒も探究活動を待ちわびていることがわかります。

このオリエンテーションで学んだことや先生方からの激励を胸に、これから一学期の間は、探究科学科の生徒 81 人が 5 つの班に分かれ、二年次以降の探究活動に必要な「読み解く力」を育むための探究基礎 I に取り組んでいきます。